

校訓	自分を育て 自分を生かす 社会を明るく	令和2年度 学校だより 「天の子」 第12号	発行日	令和2年10月30日
教育目標	夢と誇りのある生徒の育成 ～自分の志・判断で自ら責任をもつ行動する態度を育てる～		発行者	伊丹市立天王寺川中学校 校長 前田 徳三

【いじめ及び不登校の調査結果】

文部科学省は、2019年度に認知したいじめ件数は、612,496件（前年度 68,563件増）で過去最多を更新したと発表されました。中学校では、106,524件（同 8,820件増）で、内容は「冷やかしの悪口」が半数以上でした。県内のいじめ件数は 22,783件で、中学校では 5,791件（同 1,422件増）と全国と同様に、過去最多を更新していました。文部科学省は「積極的にいじめを発見し、早期に介入する方針が定着した」と肯定的に評価されていました。



いじめは、人権にかかる問題であり、絶対に許されるものではありません。対応において、「未然防止」「早期発見」「早期解消」が大切であると言われます。その中でも、「未然防止」が最も大切であると考え、全ての教育活動を通して、心の醸成を図るとともに、毎年「天王寺川中学校いじめ防止等のための基本方針」を見直して、いじめを生まない土壌づくりに取り組んでいます。

また、不登校におきましては、県内では 6,084人（同 348人増）でこれも過去最多になっていました。東日本大震災後、避難等で臨時休業が長期化した被災地を中心に、子どもたちの不安やいらいから、いじめや不登校が増加したという結果があります。

コロナ禍の中、いつ終息するか分からず、子どもたちは、規制のある生活を続け、テレビの情報等によってとても不安を募らせています。

本校においては、第2回いじめアンケート調査（すべての学年で 11/30 までに実施）、教育相談アンケート（10/26～30 の間に実施）、教育相談週間（11/12～17）を設け、いじめの実態を把握し、早期発見、早期解消に努めます。また、心のケア等において、必要に応じてスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーと連携して、対応してまいります。心配なこと等がございましたら、学校までご連絡いただきますようお願いいたします。

【土曜スクール（キャッシュレス）】

10月24日の土曜スクールは、三井住友カード株式会社松村秀明氏を東京からお招きし、「キャッシュレス社会と私たち」と題して、授業をしていただきました。コロナ禍の中、益々、現金を使わず、キャッシュレス決済が普及してきます。



正しいカードの使い方やクレジットカードの仕組み、トラブルに巻き込まれたときの対処法等をわかりやすくご説明いただきました。

万一、トラブルになった時は1人で悩まないで、保護者、先生に相談してください。

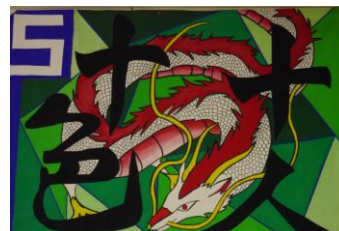
消費者ホットライン：☎「188（いやや!）」

【学年別競走競技大会の結果】

新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年度体育大会を中止することになりました。その代替として、学年別に競走競技大会を行いました。保護者の皆様の参観はご遠慮いただきましたが、学年別競走競技大会の様子を動画撮影し、ビデオ

DVD として、3学期に実施予定の合唱発表会の様子と併せて配付させていただきます。

また、1年生は、学年別競走競技大会の終了後に長縄大会を実施しました。3年生は、学級旗の表彰を行いました。



< 3年5組の学級旗 >

	第1位	第2位	第3位
1年生	2組	3組	5組
2年生	8組	1組	2組
3年生	2組	3組、7組	

長縄大会（1年生）

第1位 7組、第2位 4組、第3位 1組

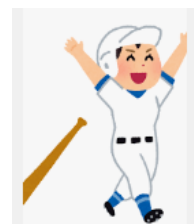
学級旗表彰（3年生）

最優秀賞 5組、優秀賞 2組

【福岡ソフトバンクホークス優勝】

福岡ソフトバンクホークスが、2020年パシフィックリーグを制覇しました。ソフトバンクホークスのファンではありませんが、コロナ禍で、過密日程が組まれており、身体的・精神的に厳しいシーズンであったと思いますが、圧倒的な強さで優勝を勝ち取った工藤公康監督の言葉に感動しました。「選手には『日々新たに』と説き続けた。選手たちには、移動もスケジュールもきつい時は、先を見据えたら気持ちになえるので、終わったら、また、次の日と強い気持ちを持ってやることが、最終的には勝ちにつながった」と気持ちの切り替えを信条に、3年ぶりのリーグ優勝を成し遂げました。

忙殺されそうな生活が続くときもあると思いますが、常に、前向きに具体的な目標を持ち続け、進歩しようとした結果、あのような強豪球団になったのですね。



【トム・クルーズ】

みなさんもよく知っている「ミッション・インポッシブル」や「トップガン」等の映画で素晴らしい演技を見せてくれるアメリカの有名な俳優トム・クルーズさんは、ディスクレシア※であると公表されています。そのことによって、映画の台本を読んだり、台詞（セリフ）を覚えることが難しく、集中して話を聞いたり、誰かに話してもらったことを覚えたりして、台詞を覚えて演技をしているようです。映画を見ていて、それを感じませんでした。メディアに対して、自身の障害を公表して、そのことを負けず、懸命に誠実に俳優業に尽力している姿にとっても感動します。

みなさんは、この話をどのように思いますか。



※ ディスクレシア・・・文字の読み書きに困難を感じる特性で、文字を読む速度が非常に遅く、文字を正確に読むことに困難である。他にも、単語の文字の順番を入れ替える、新しい言語を覚えることに困難を感じる、長時間の読書が苦痛に感じる等といった症状。

